

平成29年6月4日
今週のベストショット



雁レク軟式7 塩浜ジャガーズ対レッドサンデーズ戦

二回表、ジャガーズの三連打も三本間の狭殺プレーで凌ぐレッドサンデーズ内野陣。

写真：奈多フェニックス 実延 新伍

青松園A 奈多クラブ、豪打で奈多サンデーズを粉砕。

奈多クラブ (4勝) 1 3 3 3 0 10 今林(瑠)○-安河内

奈多サンデーズ (1勝3敗) 0 2 1 0 0 3 砂場●-野々下

HR:今林(健)(奈多ク)野々下(奈多サ) 3 BH:今林(瑠)2(奈多ク) 2 BH:安河内、久保(奈多ク)

奈多クラブは初回、先頭の今林(賢)選手が出塁すると、相手のWPが続き無安打で先制をする。対する奈多サンデーズは、奈多クラブ今林(瑠)投手の前にチャンスを作る事が出来ず初回の攻撃を終わる。二回の奈多クラブの攻撃でも、奈多サンデーズバッテリーのWPや野手のエラー、さらには今林瑠選手の左越え三塁打などで3点を追加する。その裏、奈多サンデーズは砂場投手の女房役野々下選手のHRなどで2点を返すも追いつく事が出来なかった。三回表には奈多クラブ今林(健)選手の右中間への特大HRなどで3点を追加し、この試合の主導権を握る。四回表には奈多サンデーズのエース砂場投手に強烈なピッチャー返し当たるなど、砂場投手を苦しめた奈多クラブが11-3で奈多サンデーズを下した。(写真・記事:三苦三球会 船橋 史哉)



奈多クラブのエース今林瑠投手。



奈多サンデーズ先発の砂場投手。



二回裏、HRを放った奈多サンデーズ野々下選手。



きっちりチャンスメイクをする奈多サンデーズ守選手。



強烈なピッチャー返しを放った奈多クラブ安河内選手。



特大HRを放ちチームメイトに迎えられる今林健選手。



レーザービームを見せた奈多サンデーズ川上中堅手。



安定した守備を見せる奈多クラブ馬場口三塁手。



冷静な判断で砂場投手を助けた奈多サンデーズ長濱選手。



投打で大活躍の今林瑠生投手と女房役安河内選手。

雁レク軟式7 レッド塚本選手、好リリーフで勝利を呼び寄せる！！

塩浜ジャガーズ (4敗) 00040 4 内田●、荒木-橋村

レッドサンデーズ (2勝2敗) 2032× 7 古賀○、塚本-八島

HR: 田沼 (塩浜ジ) 3BH: 古賀 (レッド) 2BH: 石内 (塩浜ジ)

盗塁: 石内 (塩浜ジ) 古賀、川原2、八島2、神田 (レッド)

先手を取ったのは一回裏のレッドサンデーズ。先発投手でありながら一番を打つ古賀選手が中前打で出塁すると盗塁とワイルドピッチで無死三塁のチャンスメイク。続く川原選手が四球で出塁すると三番八島選手は三振するも四番神田選手がレフトへ犠飛を打ち先制。続く五番木寺選手の左前打でさらに追加点が入り、この回2得点。一方のジャガーズは三回まで単打3本に抑え込まれ古賀投手から得点を挙げる事が出来ずこれ以上点差を広げられなくなかったが三回裏にまたしても先頭の古賀選手に今度は三塁打を打たれ、このチャンスに二番川原選手が絶妙なスクイズを決め4点差とされる。この点差に動揺したかここから内田投手の制球が乱れ始めさらに1点を追加され5-0と大きく突き離されてしまう。一方的な試合展開になるかと思われたが四回表にここまで好投を続けてきた古賀選手に疲れが見え始める。二つの四球とパスボール、ワイルドピッチで2点を返された後、九番田沼選手に2ランホームランを打たれ一気に一点差に詰め寄られる。ここでレッドは投手を塚本選手にスイッチ。塚本投手は二番石内選手に二塁打を打たれ味方の失策などもありながら追加点を許さない好リリーフを見せる。1点差としたジャガーズは四回裏から荒木投手を投入するがこれが誤算。先頭打者にいきなり四球を与えその後も四球や失策、ワイルドピッチが重なる中、レッドの2盗塁など隙のない攻撃で2点を追加されこのままゲームセット。塚本投手の好リリーフが勝利を呼び込んだこと、スクイズで貴重な追加点を取った場面など八島監督のサインを出す姿が印象的だった。(記事・写真: 奈多フェニックス 実延 新伍)



レッドサンデーズ先発の古賀投手。



塩浜ジャガーズ先発の内田投手。



先制の犠飛を放つレッド四番神田選手。



帰ってきたジャガーズの大砲、立石選手。



二回表、三本間に挟まれるジャガーズ稲富選手。



四回表、1点差に追い付く2ランを放った田沼選手。



四回表、好リリーフを見せたレッド塚本投手。



四回裏、代打できっちり送りバントを決めた梅野選手。



ピンチに集まるジャガーズナイン。



左から前田選手 荒口選手 古賀選手。

青松園B 投手戦を制したのは自らのバッティング！パイレーツ吉田投手！！

和白新町パイレーツ（2勝2敗）001002 3 吉田○ー大濱

ソルトベイスターズ（0勝4敗）000000 0 小山●ー酒井

2BH：吉田（新町パ） 盗塁：小林（新町パ）中村（健）（ソルト）

前回、今期初勝利まであと1歩のところまでせまったソルトベイスターズ対エース吉田投手の調子があがってきている新町パイレーツとの対戦で試合開始。初回、ソルトベイスターズ小山投手のキレの良いボールでパイレーツ打線は2三振。一方の吉田投手は、立ち上がりには1本打たれたが、後続を無難に抑える。先制点は三回表パイレーツの攻撃、二死ランナー無しから、一番小林選手がセンター前、セカンド盗塁後二番八坂選手の技ありサード前バントヒット後、小山投手のWPにて1点先取。四回、五回と、両エースの投げ合いにてなかなか得点がとれず迎えた六回表、パイレーツ四番大濱選手がきれいなレフト前にて出塁、二者凡退後の七番三重野選手、前の打席にてショート内野安打を放っており期待がかかるその瞬間、ソルトベイスターズ石井二塁手のグラブにあたる内野安打にて一三塁とする！ここでパイレーツ吉田投手が小山投手渾身の速球を見事左中間へ弾き返す二塁打にて2者生還、大きな2点を加えた！！本日の吉田投手のピッチングなら3点あれば十分とばかりに六回裏のソルトベイスターズの攻撃を最後はダブルプレーにて試合終了。エースの貫録をみせた！敗れたソルトベイスターズだが、小山投手のナイスピッチングが続いている中、打撃陣のあと1本が欲しい場面が何度かあったがパイレーツと違い小技がなかなか見られず打たせて凡退が目立ったような気がした。勝ちにこだわる戦略が欲しい試合だった。中村監督の今後の采配に期待したい！！（記事・写真：ブルーマーリンズ 末松勝祝）



一回表、ソルト小山投手の速球に苦戦するパイレーツ打線。



一回表、八坂選手の技ありセーフティバント。



本日2安打のソルトベイスターズ吉田選手。



五回裏、豪快なスイング酒井選手だが・・・。



六回表、三重野選手の内野安打。



六回表、試合を決めた吉田選手の左中間二塁打！



六回裏、反撃及ばずソルト真弓選手のWプレー。



本日のヒーロー！パイレーツ吉田投手。

奈多グラウンド 最終回到大波乱！

三友クラブ (1勝3敗) 0000003 3 久岡●ー谷崎

新町ウィズ (3勝1敗) 2000002× 4 藤田○ー今林

2BH：吉浦 (新町ウ) **盗塁**：桐島、泉 (太)、宮原 (新町ウ)

新町ウィズは一回裏、二死より三番吉浦選手の左翼への二塁打で出塁すると暴投で塁を進め四番桐島選手は四球を選びすかさず盗塁を決める。二死ながら二三塁と先制の好機に五番藤田選手に打席がまわる。変化球にタイミングを崩されてしまい、打ち取られたかに思えたが二塁への緩い打球が内野安打となる。さらに打球処理に慌てたのか、悪送球もありウィズが2点を先制する。一方三友クラブはウィズ先発藤田投手の前に六回まで2安打のみに封じられ、中々得点を挙げられない。三友クラブは初回こそ2点を奪われたが先発久岡投手の力投により、追加点を与えない好投を果たす。そして七回表三友クラブは一死二三塁と一打同点の好機で三番中内選手の左前安打で同点とする。さらには暴投による走者の生還もあり、この回で3点を奪い逆転に成功する。しかし、ウィズもこのままでは終わらない。1点を追うウィズは七回裏、一死二三塁と今度は一打サヨナラの好機を演出。ここで三番吉浦選手が見事前中安打を放ち、ウィズがサヨナラ勝ちを決める。最終回での波乱が起きた好試合であった。(記事、写真 雁の巣ライナーズ 明瀬 旭)



新町ウィングズ先発の藤田投手。



三友クラブ先発の久岡投手。



一回表、藤田投手の勢いのある直球。



一回裏、先制となる内野安打を放つウィングズ五番藤田選手。



二回表、ウィングズの投内連携。



六回裏、代打で登場し安打を放つウィングズ城戸選手。



七回表、逆転のきっかけとなる四球を選ぶ三友クラブ山本選手。



七回表、同点打を放つ三友クラブ三番中内選手。



七回裏、サヨナラ打を放つウィンズ三番吉浦選手。



ウィンズサヨナラ勝利で歓喜のベンチ。



サヨナラ勝利の立役者、左から吉浦選手、宮原選手。

第8週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第8週、6月4日は4試合が行われました。

青松園Aの奈多クラブ対奈多サンデーズ戦は、奈多クラブに与えてはいけない先取点を無安打で与えてしまうと、その後は一方的な展開。奈多サンデーズは五番野々下選手が一矢を報いるHRを放つも終わってみれば10-3で奈多クラブの勝利。奈多クラブ林溜生投手は打っても3安打、今林健選手は2安打1HRと眼鏡をかけて

から好調を維持。

雁レク7の塩浜ジャガーズ対レッドサンデーズ戦は、ランナーを出すものの何とかしのぐレッド古賀投手。機動力を駆使して点を重ねるレッドに対し、5点ビハインドのジャガーズは九番田沼選手のHRなどで1点差まで追い上げるも4-7でレッドが逃げ切った。レッド前田選手は一塁を駆け抜けた際に肉離れを再発し、交代となった。

青松園Bの新町パイレーツ対ソルトベイスターズ戦は、パイレーツ吉田投手が三塁を踏ませたのは三回裏のみの無失点ピッチング。攻撃では1点リードで迎えた六回表に二死から吉田投手のタイムリーで3点を奪い3-0でパイレーツの勝利。吉田投手の投打にわたる活躍が光った。

奈多グラウンドの三友クラブ対新町ウインズ戦は、0-2ウインズリードで迎えた七回表、三友クラブがウインズ藤田投手の乱調とヒットで3点を取り逆転するもその裏、一死から3連打でウインズ吉浦選手が逆転サヨナラのタイムリーを放ち3-4xでウインズ勝利。最後まで何が起こるか分からない面白さを体現する試合だった。

ここまでほぼ順調に試合日程を消化している今シーズン。無敗の好調チーム、1勝が遠い不調チームと明暗が分かれつつあるが、梅雨の季節を迎え、グラウンド状態が試合を左右しかねない。

ここで踏ん張ればまだまだ上位進出が狙えるので、しっかり準備をして欲しい。

上位チームは足元をすくわれないように盤石の試合展開を心掛けてほしい。